

種郵便物認可

世界的に景気の先行き不透明感が強まるなか、ブラジルやロシアなど新興国向けの海上コンテナ輸送が堅調だ。中国から先進国に向かうコンテナ船の運賃が荷動きの停滞を背景に下落する一方で、新興国向けは上昇する異例の事態も起きている。海運各社は輸送量の変化に合わせて、航路ごとの輸送体制の見直しに動いている。

「アジアから距離が近い地中海向けの運賃が、遠距離の欧州向けを上回る異例の事態だ」。欧州系海運会社の担当者は指摘する。

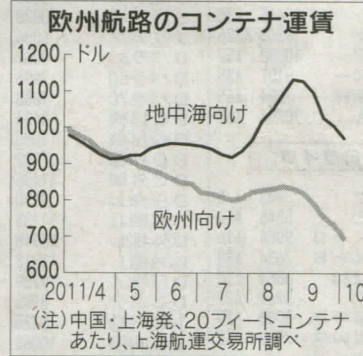
指標となる中国・上海

海上コンテナ

発のスポット(随時契約)運賃は5月以降、スエズ運河を通過してトルコやロシア、東欧などを結ぶ地中海航路が、ドイツやフランス向けの欧州航路を上回った。欧州の債務危

機が長引くにつれ運賃の差は広がり、9月には地中海向けが1TEU(20ピココンテナ)あたり1100ドル、欧州向けに比べ300ドル高くなった。米州向けも5月には北

新興国向け輸送堅調



クリスマス商戦を控え、新興国の荷動きが活発だ

米航路(東岸と西岸の平均)を900ドル下回っていた南米航路の運賃が夏場に逆転した。地中海、南米向けともクリスマス商戦に照準を合わせた海運会社の値上げ要請を荷

運賃上昇、先進国を逆転

アジア系海運会社だ。自社)。新興国の消費動向自動車メーカーが新興国にとは対照的だ。

工場を建設しており、自動車部品など工業製品の荷動きも活発だ。完成品航路ごとの輸送体制を見直して始めている。商船三井は7月から南米向けの輸送能力を拡大。一方で今月から北米路線を一部休止する。川崎汽船は他社と共同運航する欧州向けの航路を7月に一部休止した。

一方で先進国向けは振るわない。米調査会社ゼンブによると、9月のアジア発米州向け輸送量は前年同期比7%減の115万7514TEUと4カ月連続で減少した。景気の先行き懸念から、米国の小売業者が日用品などの在庫積み増しを避けたためだ。特に「クリスマス商戦に向けた家具や家電、衣類などの荷動きが鈍い」(アジア系海運会社)もあ

主側が受け入れた。新興国では経済成長に伴い「家具や衣料などの日用雑貨の需要が増えている」(日本郵船)。「年末のクリスマス商戦に向けた荷動きも堅調」(ア